

令和2年度事業実績について

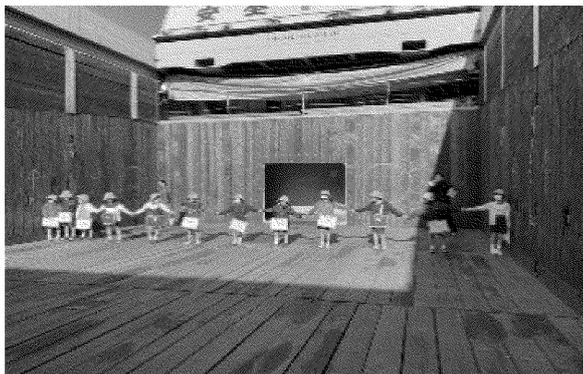
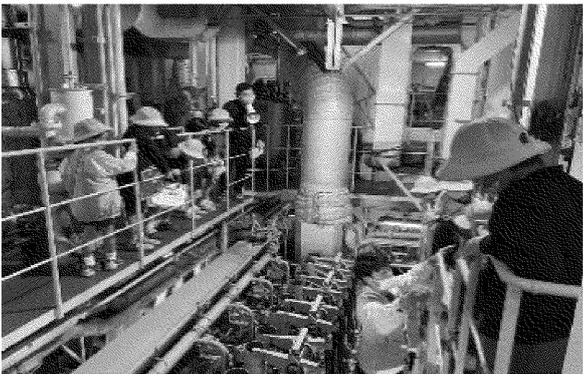
|   |                 |  |   |
|---|-----------------|--|---|
| 1 | 令和 2年<br>5月22日  | 上天草市海運業次世代人材育成推進協議会ワーキンググループの開催  |   |
|   |                 | 目的・参加者   | 概要・意見等  |
|   |                 | 協議会ワーキンググループ設置要綱により協議会の事業計画素案を検討するため会合を開催<br><br>WG/浦山氏・杉本氏・増田氏<br>産業政策課/小松野<br>熊本県海運組合/事務局 松本   | ○令和 2年度上天草市海運業次世代人材育成推進協議会事業内容について協議<br>○上天草市海運業疑似体験システムの活用に係る協力依頼について依頼<br><br>【意見】<br>・新船の体験乗船を10月・11月頃に実施可能、日程の調整中<br>・本年度は市外への出前講座などを計画できればと考える |
| 2 | 令和 2年<br>7月7日   | 第5回上天草市海運業次世代人材育成推進協議会の開催  |   |
|   |                 | 目的・参加者   | 概要・意見等  |
|   |                 | 協議会設置要綱に基づき担い手不足の解消及び海運業のPRや施策を検討するため協議会を開催<br><br>熊本県海運組合、全日本内航船主海運組合三角連絡所、九州運輸局熊本 運輸支局、国立口之津海上技術学校、熊本県立上天草高等学校、熊本県立天草拓心高等学校、(株)熊本銀行、(株)肥後銀行、天草信用金庫、市教育委員会事務局学務課、上天草市長、経済振興部長 | ○令和元年度事業実績及び収支決算について協議<br>○令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について協議<br><br>【意見】<br>・船員という職業が認知されていない地域へのPR<br>・利用しやすい補助制度の見直し及び活用を                               |
| 3 | 令和 2年<br>11月13日 | 海運業後継者育成事業(体験乗船)   |   |
|   |                 | 目的・参加者   | 概要・意見等  |
|   |                 | 内航海運のPRと市内学生の職業選択肢の一つとして取り上げられる仕事になることを目的として体験乗船を実施。<br><br>阿村小学校 1年生 12名<br>2年生 9名<br><br>引率先生 4名<br>協議会 7名<br>(株)雄和海運 2名   | 《11月13日》 船内見学<br><br>⚓ 輝王/総トン数 499トﾝ<br>合津港<br>機関室や甲板上の見学、<br><br>【参加者の意見】<br><br><u>詳細は別紙 I -1(6ページ)</u>   |
| 4 | 令和 2年<br>11月26日 | 海運業後継者育成事業(体験乗船)   |   |
|   |                 | 目的・参加者   | 概要・意見等  |
|   |                 | 内航海運のPRと市内学生の職業選択肢の一つとして取り上げられる仕事になることを目的として体験乗船を実施。<br><br>拓心高校 1年生 20名<br>2年生 17名<br><br>引率先生 2名<br>協議会 5名<br>五和海運 5名  | 《11月26日》 体験乗船<br><br>⚓ 第三八千代丸/総トン数 470トﾝ<br>富岡港 出港<br>機関室や甲板上の見学、操船体験<br><br>【参加者の意見】<br><br><u>詳細は別紙 I -2(7ページ)</u>                                |

|   |                                 |   |  |
|---|---------------------------------|---|--|
| 5 | 令和3年<br>3月27日                   | 海運業後継者育成事業(体験乗船)  |  |
|   |                                 | 目的・参加者  | 概要・意見等   |
|   |                                 | <p>内航海運のPRと市内学生の職業選択肢の一つとして取り上げられる仕事になることを目的として体験乗船を実施。</p> <p>【参加者】三角中学校 7名<br/>三角小学校 5名</p> <p>協議会 7名<br/>天翔汽船 7名</p> | <p>《3月27日》 体験乗船(市外での活動)</p> <p>⚓ とばせ/総トン数 469トﾝ<br/>三角港<br/>機関室や甲板上的の見学、操船体験</p> <p>【参加者の意見】</p> <p><u>詳細は別紙Ⅰ-3(8ページ)</u></p>  |
| 6 | 令和2年<br>11月5日<br>11月6日          | 海運業後継者育成事業(視察研修)  |  |
|   |                                 | 目的・参加者  | 概要・意見等   |
|   |                                 | <p>内航海運の現状を踏まえ、船員不足に対する活動や今後の課題などについて意見交換</p> <p>ふなどころ阿南まちづくり協議会会長、副会長、阿南市長、副市長、阿南商工会議所会頭ほか10名</p> <p>当協議会WG委員 7名</p>   | <p>《研修先》ふなどころ阿南まちづくり協議会(徳島県阿南市)</p> <p>【11月5日】 上記の協議会会員と「海運業の将来、船員育成の課題」について意見交換を行った。</p> <p>【11月6日】 阿南商工会議所にて協議会と教育機関との連携について意見交換。その後、阿南市役所を訪問し、阿南市長・副市長と面談</p> <p>【意見】<br/>今後の船員育成について、課題等を互いに共有事項として共に解決の道を探るため、両協議会で友好団体としての協定締結を検討し、両団体で連携して課題に取り組めるようにしたい。</p> |
| 7 | 令和2年<br>12月                     | 海運業後継者育成事業(ポロシャツ/ジャケット購入)   |  |
|   |                                 | 目的・参加者  | 概要・意見等   |
|   |                                 | <p>船員募集PRを目的として作成。</p>  | <p>○ポロシャツ 20着/ジャケット 20着購入 詳細は別紙Ⅱ(9ページ)</p>   |
| 8 | 令和2年<br>9月<br>10月<br>11月<br>12月 | 海運業後継者育成事業(海運振興に関する出前講座)  |  |
|   |                                 | 目的・参加者  | 概要・意見等   |
|   |                                 | <p>本市の基幹産業である海運業及び船員の魅力を広くPRし、将来の担い手不足解消の一助とする。</p>   | <p>教良木小学校、松島中学校、中北小学校 計3校で実施</p> <p><u>詳細は別紙Ⅲ(10ページ)</u></p>   |

体験乗船（第三八千代丸）



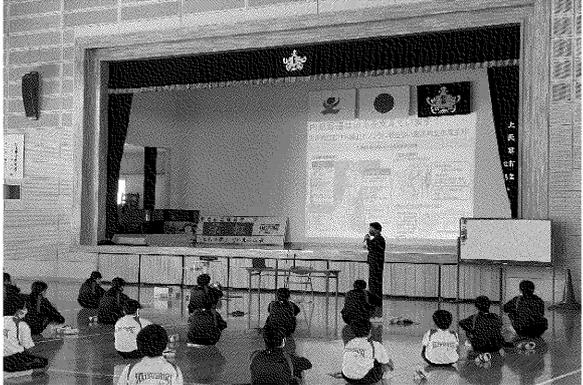
船内見学（輝王）



体験乗船（とばせ）



海運振興に関する出前講座



## 11月13日 『輝王』 船内見学

『輝王』 船内見学にご参加くださり、ありがとうございます。  
今後の活動のために皆様のご感想・ご意見をお聞かせ下さい。

## ○ 学校の情報をご記入ください

|      |                   |      |                  |
|------|-------------------|------|------------------|
| 学校名  | 阿村小学校             | 学年   | 1年生 12名 / 2年生 9名 |
| 住所   | 上天草市 松島町阿村        | 電話番号 |                  |
| 担任氏名 | 1年生/小西先生 2年生/笠田先生 |      |                  |

## ○ 児童の感想

## 【1年生】

- ・いろいろなところを見せていただいてうれしかった
- ・かじを動かせてもらって楽しかった
- ・ぼくも大人になったら船に乗るお仕事がしたいと思った

## 【2年生】

- ・初めて、船の中を見学しました。見学して良かったです
- ・船の仕事のことが分かりました
- ・荷物を置く所があるんだなと思いました
- ・がんばって働いていらっしゃるんだなと思いました
- ・船は大きいけれど、中で働く人は、思ったより少ないんだと思いました

## ○ 先生方の感想

松島に住んでいながら、なかなか船の見学などさせていただく機会もなく、今回のような場を  
与えてくださり、私もたくさん学ばせていただきました。阿村の子どもたちにとって、船はとて  
も身近なものでもあると思います。

今回学ばせていただいたことを今後にもしっかりつなげていけるよう子どもたちとも話していきたく思います。

ご回答ありがとうございます。

この用紙は厳重に保管し、今後の協議会運営の参考にする以外の目的には使用いたしません。

## 新造タンカー「第三八千代丸(総トン数470トン、五和海運有限公司)」への 体験乗船について(報告)

### <生徒感想文>

#### 1年海洋科学科 海洋航海コース

実習船熊本丸とは、船体構造が全然違ったので驚きました。石けんの原材料となる苛性ソーダーを運んでいて安全面を第一に考えてあることが分かりました。船員の部屋も個室で思った以上に広がったので快適に生活できそうです。タンカー船に興味があったので、今回の見学でより詳しく知ることができて良かったです。

#### 1年海洋科学科 海洋航海コース

体験航海をしていただきありがとうございました。私は興味があったタンカー船に乗船することができたのでとても興奮しました。操舵体験では、少し舵輪を動かすだけで、船体が大きく傾いて、針路を安定させるのがとても難しかったです。機関室見学では、舵を動かしたりプロペラを回したりするための巨大なエンジンが大音量を出していて圧倒されました。

#### 1年海洋科学科 海洋航海コース

タンカー船の船内見学では、出港や入港、航海中に船員さんがテキパキと働いている姿が印象的で本当にすごいと思いました。私も高校で船舶のことについて、しっかり勉強をして、将来船舶免許を取得したらタンカー船で働いてみたいという気持ちがさらに強くなりました。

#### 2年海洋科学科 海洋航海コース

ケミカルタンカーの新船に体験乗船をさせていただき本当にありがとうございました。私はこれまでフェリーと実習船熊本丸に乗ったことがありましたが、タンカー船に乗船するのは初めてだったのでとても勉強になりました。特に船舶の「ともづけ」の操船方法では、今まで見たことのないタイミングで舵を取っていたので驚きました。また、それぞれの船員さんが自分の持ち場で出入港作業をしていて、私も早く内航船に就職して仕事を覚えたいと思いました。

## 体験航海『とばせ』アンケート 集計

本日は、新船『とばせ』体験航海イベントにご参加くださり、ありがとうございます。  
今後の体験航海イベントのためにご感想・ご意見をお聞かせ下さい。

|       |     |            |     |                      |
|-------|-----|------------|-----|----------------------|
| 参加者数  | 12名 | 男子10名・女子2名 | 学校名 | 三角中学校 7名<br>三角小学校 5名 |
| 参加者住所 | 宇城市 | 三角町        |     |                      |
| 年齢    | 12才 | ～          | 15才 |                      |

|   |                 | とてもよかった      | よかった         | 普通    | よくなかった  |
|---|-----------------|--------------|--------------|-------|---------|
| 1 | 体験航海に参加した感想     | 9            | 3            |       |         |
| 2 | 体験航海に参加した理由     | 船員の仕事に興味があった | 海運業に興味があった   | 船が好き  | 学校からの案内 |
|   |                 | 2            | 5            | 5     |         |
| 3 | 将来、船で働く仕事をしてみたい | してみたい        | どとらかというしてみたい | わからない | したくない   |
|   |                 |              | 4            | 8     |         |
| 4 | また体験航海に参加したい    | 参加したい        | できたら参加したい    | 参加しない | わからない   |
|   |                 | 4            | 5            |       | 3       |

## ○ 今日の体験航海イベントに参加した感想 まとめ

- ・ 初めて船の中を見て、大きくて日常生活とあまりかわらない生活が送れることが分かりました。操作もできてとてもたのしかったです。
- ・ 船の仕事やおもしろさがわかってよかった。
- ・ 舵を運転したり、船の中を見れてよかった。色々な機械があつてすごかった。
- ・ 船のことも知れたし、船を動かして楽しかった。
- ・ 体験航海に参加して楽しかった。もう一回体験してみたい。

貨物船の操舵室を見学する阿村小の児童たち＝上天草市



# 貨物船の中探検したよ

上天草市松島町の阿村小1、2年生21人が13日、県海運組合などつくる市海運業次世代人材育成推進協議会と同校が社する貨物船の船内を見学、地元で盛んな海運業や船員の仕事に理解を深めた。

## 上天草市・阿村小 海運業に理解深める

児童たちは、貨物船「輝王」(499ト級)に乗り込み、協議会メンバーの案内で、操舵室やエンジンのある機関室、船員が生活する部屋などを回った。いかりの上げ下げなど甲板作業も学習。鋼材を積み込むことが多い縦40センチ、横10センチ、高さ6センチの貨物室では、新幹線車両も収めて運ぶと教わり、驚いていた。

(松富浩之)

# 阿南協と上天草協 船員育成等で意見交換会

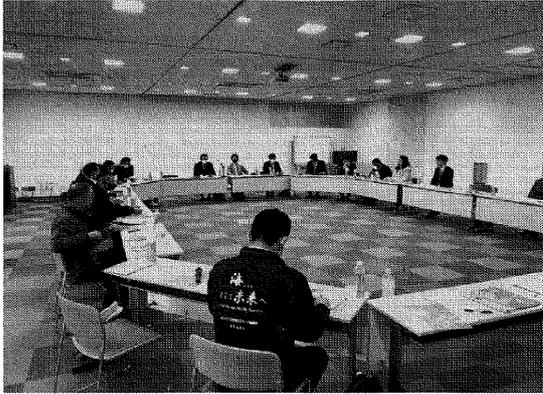
徳島県阿南市の四国地方の内航船主を中心とした「ふなご」阿南まち

づくり協議会（笹野忠弘会長）と「上天草市海運業次世代人材育成推進

協会」（深水保廣会長）は11月5〜6日の両日、合同意見交換会を阿南市で開催した。

今回の合同意見交換会は、当初11月6日に開催予定だった「尾道海技学院徳島阿南校」の開校式の視察と併せて実施する予定だった。しかし、徳島阿南校の開校が延期となったため急遽意見交換会のみで開催となった。

関係者によると、開催された懇親会では交流を深めるとともに、「内航海運業の課題や将来の展望などについて意見交換を行いながら、取り組む



阿南協と上天草協の合同意見交換会

べき課題について情報を共有した」という。

翌日の6日は、両協議会による意見交換会を開催し、「船員育成」について教育機関と海運事業者の関わり方と協調、今後の課題等について意見を交わした。

これら課題については、「今後もそれぞれの課題について継続的に話し合いを続けていく」とことを確認。その第一歩として次回は阿南市から上天草市へ研修団を派遣することとなり、将来的には両協議会による友好団体協定を締結する方向で

今後活動を実施することとなった。

阿南市長、副市長を訪問。上天草側から海運事業者の現状や上天草市の海運振興対策に係る取り組み事例を説明したあと、「阿南市においても内航海運業に対する支援がなされるために、行政と協議会の橋渡しができるワーキングチームの創設を提言した」という。

これら提案に対して、阿南市長からもワーキングチームの創設について、「ぜひ取り組みたい」という積極的な発言があったという。

現在、内航海運業界では暫定措置事業後の組織のあり方、コロナ禍による

景気の減退による混沌としている。そういった中で実施された今回の両協議会による合同意見交換会だが、出席した協議会委員は「結果として、地域の枠を越えて内航海運業に携わる者が将来について話し合うことができた。海運業は地方が日本を支える産業ではないのかと考えさせられた」と語り、その上で、「既存の枠組みや手法にとらわれず、各地方が手を結び、今後の自社が行く末を考え、話し合い、発言する機会が必要になってきている。今回の交流の輪が各地に広がり、つながること期待する」と本紙取材に感想を述べている。



## 大海原を舞台に働いてみませんか？

上天草市の基幹産業でもある海運業。とても魅力ある仕事です。海運業や船員の仕事に少しでも興味があって、船員になりたい人将来、就職する際の選択肢の一つとしたい、あるいは、再就職を希望する際の候補にしたい人  
未経験者でも大歓迎!!  
上天草市の海運業界はそんなあなたを待っています。

市内には、海運業を営む会社が84社あり、685人の船員を抱える全国でもトップクラスの船どころで、基幹産業として本市を支えてきました。しかし、15年前に全国で約5万人いた船員ですが、近年は、約2万人まで減少。特に、若い船員が少なく、船員の確保が課題となっています。

本市では海運業への支援として、海運組合などと協力し、船員の確保に取り組んでいます。

### 🚢 船員になるには？

船員になるためには、基本的に海技資格が必要です。(海技資格を取得することで、船舶職員として船に乗り込むことができるようになります)

海技資格を取得するには、中学校を卒業後、海上技術学校や商船高等専門学校、水産・海洋高等学校へ入ったり、高等学校を卒業後、海上技術短期大学校や海事系大学へ入り、海技資格を取得するのが一般的です。

また、再就職を希望する人や商船・水産系の学校を卒業していない人、これまで船に乗った経験がない人でも、短期間の講習を受講することで6級海技士の受験資格が得られる制度もあります。

なお、海運事業者が、海技資格の取得にかかる費用を負担してくれる場合もあり、働きながら海技資格を取得することができます。

### 🚢 船員の魅力をご紹介します

#### ★給与・待遇面が優遇されています

船員は法律で労働条件が守られています。例えば、乗船中の食事は会社負担で提供されるので、乗船中はお金をあまり使うことがありません。

また、一般的な陸上職に比べて給与が良く、技術職なので転職が比較的容易。乗船履歴や海技免状などに応じてステップアップもできます。

#### ★勤務・休暇サイクルを選択

一般的な内航船員の場合、3カ月乗船・1カ月の休暇の勤務サイクルになります。(または、2カ月乗船・20日程度休暇)ハイシーズンを避けて海外旅行や趣味に最大限の時間を使うことが可能。

休暇中も給料が支払われるため安心して過ごせます。

#### ★行ったことがないたくさんの場所へ

船が岸壁についたあと、次の荷役や出航まで時間がある場合は上陸も可能で、陸の生活ではなかなか行くことができない、全国津々浦々のグルメや観光地を楽しむことができます。

### 🚢 短期間での海技資格取得

座学(2.5カ月)+乗船実習(2カ月)の課程です。4.5カ月の課程修了後、船社での乗船経験(6カ月)を経て、6級海技士の受験資格が得られます。(課程修了者は、6級海技士試験のうち筆記試験が免除)

この短期養成課程は、現在、JML九州海技学院(宇城市三角町)、尾道海技学院(広島県尾道市)で実施されています。

### 🚢 支援制度があります！

本市では、海技免許を有する新規学卒者や市外からの転入者が、市内の海運事業者就職した場合に税金を交付したり、海技免許や海技免許受験資格を有しない者を雇用し、船員として育成する事業者に対し、給与や育成に係る費用の一部を助成するなどの制度を設けています。

#### ■船員希望者の問合せ先

熊本運輸支局三角庁舎船員担当  
☎0964(52)2069

#### ■市の海運業に関する問合せ先

上天草市海運業次世代人材育成推進協議会  
☎0969(56)2928

#### ■この記事に関する問合せ先

産業政策課商工振興係☎0964(26)5531



令和2年度事業実績  
【横断幕掲示状況 大矢野庁舎】令和3年3月



令和2年度事業実績  
【懸垂幕掲示 松島庁舎】令和3年3月

